

# 船舶事故調査報告書

平成30年1月24日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	乗揚
発生日時	平成29年7月30日 01時05分ごろ
発生場所	福井県 <sup>おぼま</sup> 小浜市小浜港 小浜港北防波堤灯台から真方位000° 1.1海里付近 (概位 北緯35° 31.4′ 東経135° 44.2′)
事故の概要	プレジャーボートRing RingⅢは、東北東進中、小浜市 <sup>こい</sup> 児島の南端付近に乗り揚げた。
事故調査の経過	平成29年9月4日、主管調査官（神戸事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート Ring RingⅢ、5トン未満（長さ7.77m）
船舶番号、船舶所有者等	253-14865福井、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、一級小型
負傷者	軽傷 1人（船長）
損傷	船首部が圧壊、船首部船底外板に破口を伴う擦過傷等
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 南南東、風力 1、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 低潮時、潮高 約30cm
事故の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、知人2人を乗せ、いか釣りを終え、定係地の小浜港内に所在するマリーナに向けてGPSプロッターに表示させた往路の航跡を遡って帰途についた。</p> <p>本船は、小浜市<sup>ふたごしま</sup>二児島埼南方沖を通過したところで、船長が視認したマリーナの照明を目標とすることとし、約25ノットの対地速力で東北東進した。</p> <p>本船は、船長が、ふだんとほぼ同じ進路上を航行しているものと思い、まぶしかったGPSプロッターの画面から視線をそらしてマリーナの照明を船首僅か右方に見ながら航行を続けていたところ、児島の南端付近に乗り揚げた。</p> <p>船長は、額が計器パネルに当たり、裂傷を負った。</p>
分析	本船は、東北東進中、船長が、ふだんとほぼ同じ進路上を航行しているものと思い、GPSプロッターの画面から視線をそらしてマリーナの照明を見ながら航行を続け、船位の確認を適切に行っていなかったことから、児島の南端付近に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、夜間、本船が、東北東進中、船長が船位の確認を適切に行っていなかったため、児島の南端付近に乗り揚げたものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。

- |  |   |
|--|---|
|  | <ul style="list-style-type: none"><li>・航行中は、船位の確認を適切に行うこと。</li><li>・GPSプロッターの画面がまぶしいときは、輝度の調整を行うこと。</li></ul> |
|--|---|